

目指せ、CO₂排出ゼロ

市では、第2次平戸市地球温暖化対策実行計画・平戸市CO₂排出ゼロ都市実行計画（後期）を新たに策定しました。今回は、その内容をお知らせします。

問 市民課生活環境班（☎22・9121）

進行する地球温暖化

近年、台風の大規模化や平均気温の上昇など、地球温暖化の影響が日常生活にも影響を与えています。

国際的な専門家をつくる気候変動に関する政府間パネルの報告では、1750年以降、徐々に気温上昇が進んでおり、2017年には約1度上昇していることが示されています。このまま何も対策を講じない場合、21世紀末には2.6〜4.8度上昇することが予測されています。

また、厳しい温暖化対策をとった場合でも0.3〜1.7度上昇する可能性があり、さらに海面水位は、最大55cmも上昇する可能性が高いと予測され

ています。

そのため、世界各国では気温上昇を2度より低く抑えることを目標とし、21世紀後半に、人間による温室効果ガスの実質的排出量をゼロにすることを目指しています。

市と民間が連携した取り組みを推進

これまで、本市では市民の皆さんや民間企業とともに次の事業に取り組んできました。

- ①既存風力発電の運転・維持管理
- ②民間施設への太陽光発電の設置
- ③一般家庭への太陽光発電の設置
- ④省エネ対策などの実施
- ⑤エコドライブの実施

⑥エコカー（ハイブリッドカーなど）への買い替え

⑦北松北部クリーンセンターの余熱発電事業

⑧本庁舎などの照明のLED化

新たな実行計画の策定

令和2年4月に表明した「ゼロカーボンシティひらど」。その実現のために温室効果ガス削減を進め、地域活性化、産業振興、生物多様性の保全、健康などの観点も含め、「平戸市CO₂排出ゼロ都市実行計画」の後期計画を兼ねた「第2次平戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）・平戸市CO₂排出ゼロ都市実行計画（後期）」を策定しました。

計画の期間は、2021年度から2030年度までの10年間。計画の対象区域は平戸市全域で、削減する

温室効果ガスは「二酸化炭素・メタン、一酸化二窒素」の3種類です。これらの温室効果ガスを基準年度である2013年度の220千t・CO₂から2030年度までに60%削減し、87千t・CO₂にすることを目標としています。

2つの対策を推進

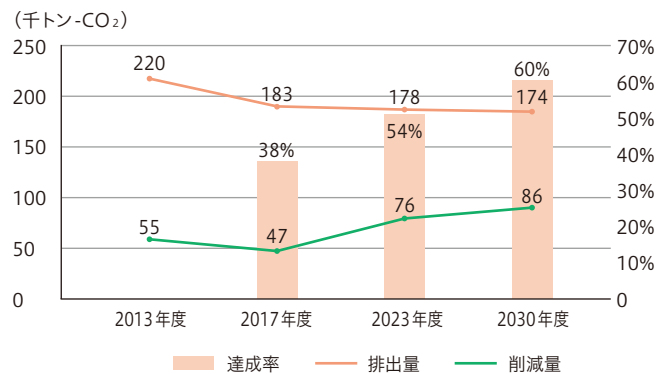
新しい計画では、「緩和策」と「適応策」の2つの対策を推進します。「緩和策」では、「再生可能エネルギーの導入拡大と効果的な活用」「省エネルギー・省資源に向けた取り組み」「温室効果ガス吸収源の確保に向けた取り組み」の3つの柱により、温室効果ガスの排出を抑制する対策を進めます。

「適応策」では、気温上昇など既に現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して、市民の皆さんの安全、健康な暮らし、安定的な事業活動環境などを確保することを目的に取り組みを実施します。特に、影響が懸念される農林水産業、水環境・水資源、自然生態系、自然災害健康、産業・経済活動、市民生活の7分野を軸に被害の回避または軽減する取り組みを進めていきます。

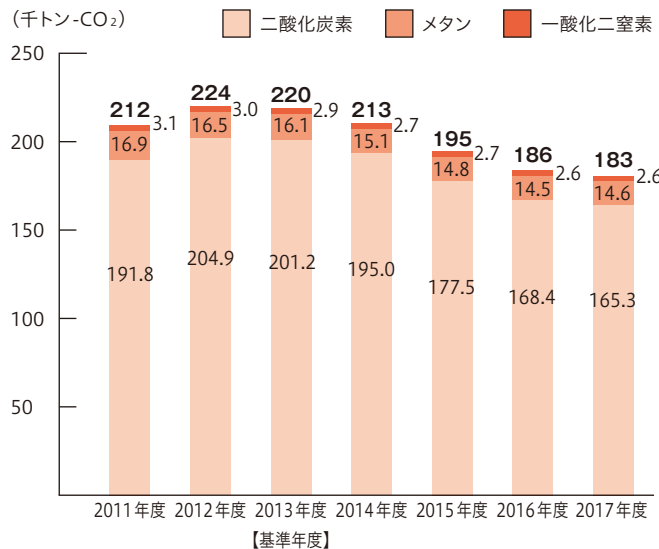


緑のカーテンに水やりをする、光の園保育園の園児たち。
カラフルなじょうろで毎朝9時に水をやります。

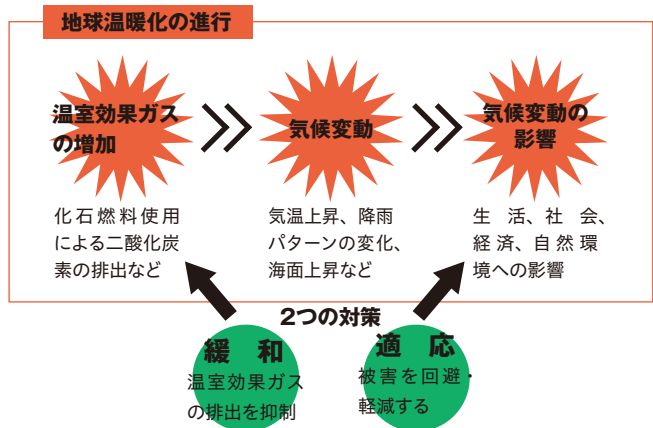
【表2】温室効果ガスの削減目標



【表1】平戸市における種類別温室効果ガス排出量の推移



【表1】2013年度（基準年度）における平戸市全域の種類別の温室効果ガス排出量は、220千t-CO₂。最新の現況年度である2017年度の温室効果ガス排出量は183千t-CO₂で、2013年度比で17%減少しています。
【表2】本計画では削減率60%と推計しており、国が示す2030年度における2013年度比温室効果ガス削減率46%の目標値を大きく上回ります。



2020年4月、黒田市長が「ゼロカーボンシティひらど」を表明

Interview



光の園保育園
田中 みゆきさん

「緑のカーテンの取り組みが、園児が花や野菜に興味を持つきっかけになり、思いやりや優しさをはぐくむことに繋がっています」

光の園保育園では、緑のカーテン事業が始まった当初から取り組みを始めました。今年も6月初旬にゴーヤとトマトの苗を子どもたちの教室の前に植えています。今年は、バラ組の園児にも手入れを手伝ってもらっており、毎朝の水やりや定期的な雑草取りなど楽しく取り組んでいます。

緑のカーテンは、日光を植物で遮ること、建物の温度が上がるのを抑えてくれる効果があります。実際に、緑のカーテンを設置しているところは涼しく感じますね。

また、園児たちに手伝ってもらうことで、園児が花や野菜に興味を持つきっかけにもなっています。収穫したゴーヤは、

佃煮やジュースにして、子どもたちの給食などを出しており、子どもたちからは「ちょっと苦いけどおいしい」と評判も上々です。

自分たちで植えたゴーヤやトマトを大切に育てることが、友だちや家族など周りの人への思いやりや優しさをはぐくむことに繋がっていると感じます。



それぞれの立場で取り組むCO₂削減対策

新たな計画を推進していくためには、市民の皆さんや事業者、NPO、行政が連携し、それぞれができる取り組みを進めていくことが大切です。温室効果ガスを減らすために、それぞれがどんなことに取り組むべきか考えてみましょう。

市民の皆さん

日常生活での省エネルギー

節電・節水、省エネ型家電製品やクリーンエネルギー自動車への買い替えなど



日常生活での省資源

使い捨て商品の購入を控える、プラスチック製品の購入・利用を控えるなど



環境学習、環境保全活動

環境保全活動や環境に関するイベントへの参加など



事業者の皆さん

事業活動での省エネルギー

クールビズ・ウォームビズ、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入など



事業活動での省資源

食品ロスの削減、リサイクル可能製品の開発、廃棄物の発生抑制・再資源化など



二酸化炭素吸収源対策

森林の適正管理、事業所敷地内・屋上・壁面などの緑化など（緑のカーテンへの参加）



NPOの皆さん

環境学習、環境保全活動

環境保全学習への協力、環境保全活動や環境に関するイベントの企画・開催など



行政

緩和の取り組み

公共施設の太陽光発電の維持管理、公共施設の照明のLED化、緑のカーテンなど



適応の取り組み

7分野（農林水産業、水環境・水資源、自然生態系など）の適応策の推進、検討



チェックしよう!うちエコ診断

うちエコ診断とは、家庭の年間エネルギー使用量や光熱水費などの情報をもとに、専用ソフトを使って、住んでいる地域の気候や家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、CO₂対策を提案するものです。

下のQRコードを読み取るか、「うちエコ診断 COOL CHOICE」で検索してみましょう。

○うちエコ診断でわかること

- ▼CO₂排出量
- ▼CO₂排出内訳
- ▼削減目標の設定
- ▼暮らしに合わせた対策の提案など



うちエコ診断はコチラから

うちエコ診断 COOL CHOICE

検索

「エコドライブ」で省エネ運転

エコドライブとは、省エネ運転のことでエネルギー消費が少ない運転です。次の10か条を守することで、車の燃費は10%の改善が見込めます。

○エコドライブ10か条

- ①ふんわりアクセルで発進は緩やかに
- ②車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ③減速は早めにアクセルを離しましょう
- ④エアコン使用は適切に
- ⑤無駄なアイドリングは止めましょう
- ⑥渋滞を避け、余裕をもって出発しましょう
- ⑦タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑧不要な荷物は降ろしましょう
- ⑨走行の妨げとなる駐車は止めましょう
- ⑩自分の燃費を把握しましょう

